



【先週 7月10日～7月16日の外食の出来事】

■ゼットン、2023年1月期 第1四半期(2022年3月～5月)の連結業績

2023年1月期 第1四半期の連結業績を発表。売上高19億4300万円(対前年同期比94.6%増)、営業利益1億4300万円(-)、経常利益2億1500万円(-)、当期純利益2億7800万円(-)と増収増益を確保した。

■ジェイグループ、2023年2月期第1四半期(2022年3月～5月)の連結業績

2023年2月期 第1四半期の連結業績を発表。売上高16億5200万円(対前年同期比138.3%増)、営業損失3億7900万円(-)、経常損失3億4700万円(-)、親会社株主に帰属する当期純利益6700万円(-)であった。

■スシロー、景表法違反で役員報酬減額 その後で「京樽」でも発覚

株式会社あきんどスシローが6月9日付で消費者庁より景表法に基づく措置命令を受けたこととお詫びと共に、役員3名から報酬等の一部辞退の申し出を受け経営責任を明らかにするためにこれを受理したと発表した。

■イトアンドの3～5月、純利益15%減 「協力金」減少

2022年3～5月期の連結決算は純利益が2億1800万円だった。23年2月期から適用した「収益認識に関する会計基準」を考慮せずに前年同期と単純比較すると15%減だった。

■サイゼリヤの9～5月、純利益4.8倍 協力金など寄与

2021年9月～22年5月期の連結決算は純利益が前年同期比4.8倍の65億円だった。新型コロナウイルス感染拡大に伴う自治体からの補助金86億円を営業外収益に計上した。売上高は13%増の1073億円だった。

■吉野家の3～5月、純利益5%減 既存店売上高伸び悩む

2022年3～5月期の連結決算は、最終損益が前年同期比5%減の14億円だった。新型コロナウイルス対策の行動制限が解除されたものの客足が想定よりも伸び悩み、既存店売上高はコロナ禍前を下回った。

■コマダHD、純利益4%減 3～5月期食材値上がり響く

2022年3～5月期の連結決算は、純利益が前年同期比4%減の12億円だった。食材などのコスト高が利益を圧迫した。客足が回復しており売上高にあたる売上収益は9%増の89億円で、増収減益となった。

■リングハット、3～5月最終赤字2000万円 客足の回復鈍く

2022年3～5月期の連結決算は、最終損益が2000万円の赤字(前年同期は1億500万円の黒字)となった。同期間では2年ぶりの赤字。時短協力金などの助成金収入の減少も響いた。

■クリレスHD、利益3.2倍 3～5月最終、時短協力金が寄与

2022年3～5月期の連結決算は、純利益が前年同期比3.2倍の34億円だった。時短営業への協力金や雇用調整助成金を合計52億円計上したことで大幅な増益となった。営業利益は3.4倍の51億円だった。